

「数理科学」2018年3月号
丹下基生著，連載「例題形式で探求する集合・位相」第4回
「選択公理」正誤表

78 ページ例題 4.3 の解答：

(解答) 任意の添字づけられた集合族を $\mathcal{X} = \{X_\lambda \mid \lambda \in \Lambda\}$ とする．整列可能定理により $X = \bigcup_{\lambda \in \Lambda} X_\lambda$ に整列順序 \prec を入れる．このとき， X_λ の \prec による最小元を x_λ とすると， $\lambda \mapsto x_\lambda$ は選択関数を与える． \square

81 ページ下から 2 行目：

(誤) 注 4.5 に書いたように
→(正) 注 4.6 に書いたように